



特集

安全安心に暮らせるまちを目指して

地域密着 防犯パトロール隊

▶問い合わせ=防災安全課
☎(32)8046 ㊟(76)5702

皆さんは、住民が主体となり地域の防犯に尽力している「防犯パトロール隊」をご存知ですか。私たちの生活を犯罪や交通事故などから守り、地域住民の防犯意識を高めるために、行政区や東海学園大学、自主団体など23団体が、防犯パトロールや小学生の登下校の見守り（スクールガード）などの自主防犯活動を行っています。今回の特集では、現在、市および東海学園大学と連携して住宅防犯対策を進めている「三好丘行政区防犯パトロール隊」を紹介します。

三好丘行政区防犯パトロール隊

三好丘行政区防犯パトロール隊は、次の基本指針を基に、住民117人が活動しています。

- ① 犯罪や迷惑行為の芽を削ぐ…明るく美しい、「コミュニケーション」のとれた環境づくり（防犯灯整備や清掃活動など）
- ② 犯罪者に隙を見せない…：区民の高い防犯意識を対外的に発信（防犯パトロールやスクールガードなど）
- ③ 犯罪者を逃さない…防犯カメラの設置

防犯パトロールやスクールガードの他にも、防犯セミナーの開催、三好ヶ丘駅前での防犯啓発活動、ナンバープレート盗難防止ネジの配布、犯罪発生状況や時事情報の回覧など、さまざまな活動をしています。地域の防犯力をさらに高めるために、愛知県が多発犯罪対策自主防犯活動推進事業の一つとして採択された振り込め詐欺被害の撲滅事業（平成28年度実施）をはじめ、現在、住宅防犯診断事業を精力的に進めています。

住宅防犯診断事業

空き巣などの住宅侵入盗の被害から地域を守るために、三好丘行政区防犯パトロール隊、東海学園大学の学生ボランティア団体「TOPPS」と市が連携して住宅防犯診断事業を行っています。活動に先立ち、豊田警察署の防犯研修会で、住宅侵入盗の手法や住宅の防犯対策などを学び、活動時の身分証「防犯診断実施者証」が交付されています。

警察から提供される犯罪手法などの最新情報を3団体で共有し、地域の実情に合わせて防犯対策を練り、活動日に地域を巡回します。豊田警察署員の指導のもと、塀や庭などの外構、窓ガラスや勝手口などの建物構造を点検して、住民にアドバイスします。複数の目で点検することで、侵入盗に狙われやすい部分を明確にすることができ、住民の防犯意識をさらに高めることができます。より多くの住宅防犯診断を行い、地域をあげて犯罪のないまちづくりを目指します。



▲防犯診断チェック表を使って細かく点検

インタビュー 三好丘行政区の防犯活動に携わる皆さんにお話を伺いました



豊田警察署
生活安全課巡查長
まつばらじゅんいち
松原淳一さん

防犯は、地域の皆さんがどれだけ意識を持って行動しているかが鍵になります。三好丘行政区防犯パトロール隊の地道な活動は、地域の皆さんへの周知だけでなく、不審者に対するけん制にもなり、防犯への大きな力になっていると感じています。



東海学園大学
経営学部教授
(T.O.P.S.代表)
かとうみのる
加藤貴さん

地域と大学、行政が一体となって日常的に課題に取り組み、協力し合うことで、信頼関係を築くことができ、有事の際にはこの連携力を発揮できると考えています。また、学生たちが地域の皆さんと活動することで、学生の心の成長につながっていると実感しています。



三好丘行政区
防犯パトロール隊長
いしかわいくお
石川育生さん

明るいまちづくりを進めるためには、防犯対策が不可欠です。日ごろから地域の皆さんとコミュニケーションを図り、防犯活動を継続することが重要です。活動を地域に定着させ、また新しい課題に着実に取り組むことで、活動が広がっていくと考えています。